

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成27事業年度の業務実績に関する
全 体 評 価

平成28年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

1 全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ① 大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」についてはS評価、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ② 「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」に関して、情報コミュニケーション学科のコース再編等、学修ニーズに応える魅力あるカリキュラム編成に積極的に取り組んでおり、学生の確保（学科志願者数が過去最高）や高い県内就職率など成果が現れていること。
生涯学習への取組として、専門的な公開講座を拡充し年々受講者数が増加しているほか、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会等、日常において芸術文化に触れる機会の少ない地域での活動に努めるなど、地域社会への貢献に向けた取組を充実強化していること。

<委員会からのコメント>

県・大分市ともに、おおいたを創造都市とするプロジェクトを進めており、経済界でも県や市の取組と符号するよう、デザイン開発やビジネスのイノベーションを進める中、大学が取り組んできた企業の商品のパッケージデザインの制作やクリエイティブ産業論など新たなカリキュラムの導入は、特筆すべき進行状況に値する。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成27事業年度の業務実績に関する
項目別評価

(大項目評価)

平成28年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、37項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②情報コミュニケーション学科のコース再編等、学修ニーズに応える魅力あるカリキュラム編成に積極的に取り組んでおり、学生の確保（学科志願者数が過去最高）や高い県内就職率など成果が現れていること。
- ③県立美術館開館記念展と連携したトークイベントの開催、音楽科教員によるジョイントコンサートや美術科卒業・修了制作展の開催等芸術文化ゾーンとの連携により地域貢献活動を充実強化していること。
- ④生涯学習への取組として、専門的な公開講座を拡充し年々受講者数が増加しているほか、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会等、日常において芸術文化に触れる機会の少ない地域での活動に努めたこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
- 各学科で作成したカリキュラムマップに基づき教育課程を点検した結果、専門科目が充実していることを確認できた。
 - ポートフォリオの様式や活用状況を検証した結果、学生一人ひとりの学習状況の把握に有効であることが確認され、履修表の改定や進学・就職支援等に活用した。
- 教育の実施体制
- アドミッションポリシー等を明確化し、本学の魅力や教育活動を多様な方法で情報発信した。また、2年目を迎えた入試広報専門員を中心に、県内外の高校訪問や進学ガイダンスに積極的に参加し大学のPRを行った。
- 学生への支援
- 「学習支援・生活支援・進路支援」の3つの方針のもと、学生と教員、教員同士の協働を通じて、面談・面接練習やアルバイトに関する注意・指導など、学生生活の問題解決や進路支援を充実させた。
 - インターンシップへの参加を促進するとともに、学内企業合同説明会の開催など、就職・進学それぞれに対応した進路支援プログラムによって学生への指導を行った結果、平成27年度卒業生の就職率は94.9%、進学率は97.2%で、いずれも目標値90%を上回った。
- 地域社会への貢献
- 公開講座（52講座、延べ2,136人受講）の開講やサービスマーケティングによる活動のほか、県の委託による環境キャラクターとシンボルマークの制作、芸術文化スポーツ振興財団との連携による県立美術館開館記念事業や県民芸術文化祭のポスター制作など、県内の各種団体との協働に取り組んだ。
 - 国際総合学科を中心に海外語学実習を実施するとともに、26年度に締結した国際交流協定に基づき釜山外国語大学に5人が編入した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	26(14)			13(6)	13(8)
研究	4(1)			2	2(1)
社会貢献	7(3)			3	4(3)
合計	37(18)			18(6)	19(12)
ウエイト考慮 後の合計	55			24	31

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、37項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- 公開講座及び公開授業の実施、大分県美術館開館記念における小学生向けのパンフレットの制作等、地域社会への貢献への取組は大いに評価できる。
- キャラクターデザイン、パッケージラベル、ポスター等、県民の目にするものが製作され、学生の意欲を高める効果的な活動である。またコンサートをはじめ多彩な事業が行われており、地域に大きな貢献が見られる。
- 全国デザインコンペ等、実践面での活動により学生の士気が上がり、教育成果が向上が見られる。
- 学生募集が効果的に行われ、成果も上がっている。また、就職率94.9%は大いに評価できる。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、19項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○学長のリーダーシップ

- ・キャンパス整備基本構想を踏まえ、学長主導のもと学内プロジェクトチームを設置し、魅力あふれるキャンパスとなるよう設計者と協議を重ね、基本設計を完了した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
運営体制	10			9	1
人事の適正化	5 (2)			4 (1)	1 (1)
業務の選択と集中	4 (4)				4 (4)
合計	19 (6)			13 (1)	6 (5)
ウエイト考慮 後の合計	25			14	11

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、19項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・時代のニーズに応じた学科再編、カリキュラム変更は、最重要課題であり、評価できる。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○自己収入及び外部資金の獲得
 ・公開講座及び公開授業の講習料、受講料等を「地域貢献・生涯学習委員会」で検討し、それぞれ適正な料金、回数を設定した。HP等で広くPRするとともに新聞折込の配布エリアを変更して受講生を募り、自己収入の増加に努めた。

○資産の適正管理及び有効活用
 ・積極的に大学施設を開放し、地域社会に貢献するとともに、自己収入の確保に努めた。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
事務効率化・ 経費抑制	3			3	
自己収入・外部 研究資金の獲得	3(1)			3(1)	
資産の適正管 理・有効活用	3			3	
合 計	9(1)			9(1)	
ウエイト考慮 後の合計	10			10	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、7項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○情報公開や情報発信の推進

- ・広報誌ではニュースの文字数を増やし、読み物として本学の魅力や活動が伝わるようにした。
- ・HPやfacebookのQRコードを作り、広報誌とHP、facebookが連動するようにした。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	1			1	
情報公開・ 情報発信	6(4)			5(3)	1(1)
合 計	7(4)			6(3)	1(1)
ウエイト考慮 後の合計	11			9	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、11項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・取材の増加は、効果的な広報活動に加え、大学の教育研究活動や地域貢献活動が認識され、その価値が評価されている証である。

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、14項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○施設・設備の整備と活用
・27年5月に、「キャンパス整備基本構想」を策定した。
・上記構想に基づきプロポーザル方式で選定された設計者による基本設計、北側進入路工事など初年度事業を計画的に実施した。
○大学の安全管理
・大学近隣のアパート等に住居している学生が多く、自転車通学の学生も多いことから、入学時のオリエンテーションにおいて、自転車運転でのマナーアップや安全運転等の研修を行い、安全確保対策に努めた。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	5 (5)			3 (3)	2 (2)
安全管理	5			4	1
人権啓発推進	4			4	
合 計	14 (5)			11 (3)	3 (2)
ウエイト考慮 後の合計	19			14	5

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、14項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

・防災活動は繰り返しの訓練と教職員、学生の参加状況把握が必要。
